

【1】基礎編 2～3歳

用意するもの：立方体の積み木を親子で4個ずつ

- ①「お母さん、こんなの作っちゃった。同じの作れるかな。」
 と言って、積み木を図1のように積みます。

*上の積み木は真ん中に積むと分かりやすい。

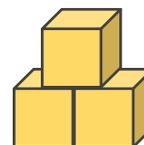


図1

- ②子どもが同じ形を積めたら、下2上1のパターンで難しくしていきます。

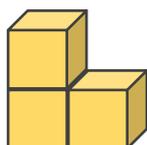


図2

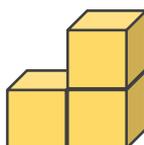


図3

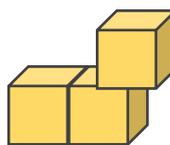


図4

急がせると適当に積んでしまいます。モデルとなる積み木は「上はどこにあるかな。」などと言ってしっかり見させましょう。

- ③ここで一度、攻守交替。子どもに先生役をさせます。

「じゃあ、今度お母さんがマネするから〇〇ちゃん、作ってみて。」

*お子さんは張り切って難しい積み方をするはずですよ。

- ④「お母さんも難しいのを作ってみるね。」と言って、別のパターンを持ち込みます。

*徐々に難しくなってくるので何かに「たとえば」あげるとよいでしょう。

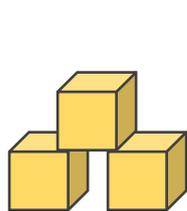


図5

トンネル

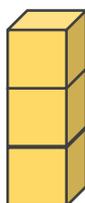


図6

スカイツリー

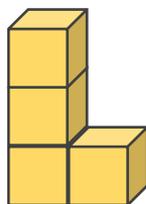


図7

その横に水族館

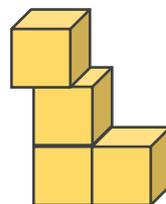


図8

キリン

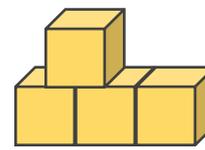


図9

汽車

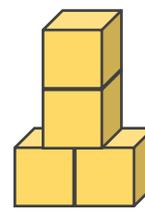


図10

富士山

*次々と提示せず、途中で攻守交替するのを忘れずに。主役はあくまでもお子さんです。

【2】発展編 3～4歳 積み木の種類を増やします。

*具体物にたえようがないので、褒めることでモチベーションを維持させます。

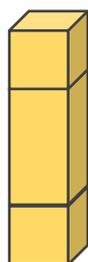


図11



図12

冷蔵庫？



図13

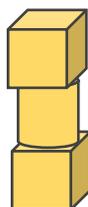


図14

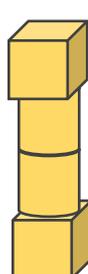


図15

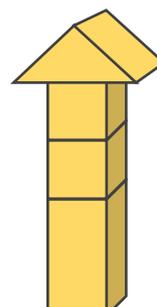


図16

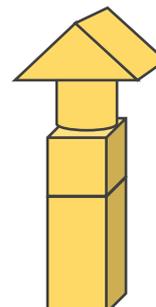


図17

屋根があるね。